

東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの人が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとり、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

○障害のある人もない人も、誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツができる環境を整え、スポーツに参加する機会を平等に保障する共生社会の実現に取り組めます。

○共生社会の実現に向かって、全ての職員が互いの違いを認め合い、それぞれの良さを活かしながら、のびのびと力を発揮できる組織を目指します。

令和3年9月3日

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
会長 白石 弥生子